

検討の全体像(振り返り)

令和5年7月10日
消防庁防災情報室

検討の背景・具体的な取組

- 高度化検討会では、令和2年度に全国消防本部に向け実施した消防システムに関するアンケート調査の結果に基づき、消防本部の課題・ニーズの解決に向け検討している。

検討のベースとしている消防本部の課題・ニーズ*

高度化検討における検討事項

標準インターフェイス検討

代理通報事業者から位置情報等がデータ接続されるとよい

通報者から現場の画像や映像を取得できるとよい

一定の要件を満たすことを前提に、データ通信による緊急通報をうけられるようにすべき

- ・ 緊急通報に係る標準インターフェイスの整備

携帯電話網活用のため、指令システムとのインターフェイスを共通化できるとよい

AVMのコストを削減したい

位置情報を転送したい

- ・ IP無線やAVMに関する標準インターフェイスの整備等

消防本部向け資料の作成

調達機会が少なく本部にノウハウが蓄積されない

標準的な機能や定義がなく仕様検討・予算確保が大変

外部接続時に必要なセキュリティ対策についてガイドライン等の基準があるとよい

- ・ 指令システムの基本的な機能、標準的な業務フローの整理
- ・ 指令システム更改の調達仕様書ひな形の作成
- ・ 非機能要件定義に係るガイドラインの作成
- ・ 消防本部のセキュリティ対策に係るガイドラインの作成

データベースに係る検討

異ベンダー製品や新機能へのデータ移行が円滑かつ低コストで行えるとよい

- ・ データ移行時の中間ファイルの標準化(指令システム・業務システム)

標準化・クラウド活用・ネットワーク検討

システム構築の財政負担が大きい

機能や規模の拡張性が高い柔軟なシステム設計にできるとよい

- ・ 業務システムの標準化・クラウド活用のための標準仕様の策定

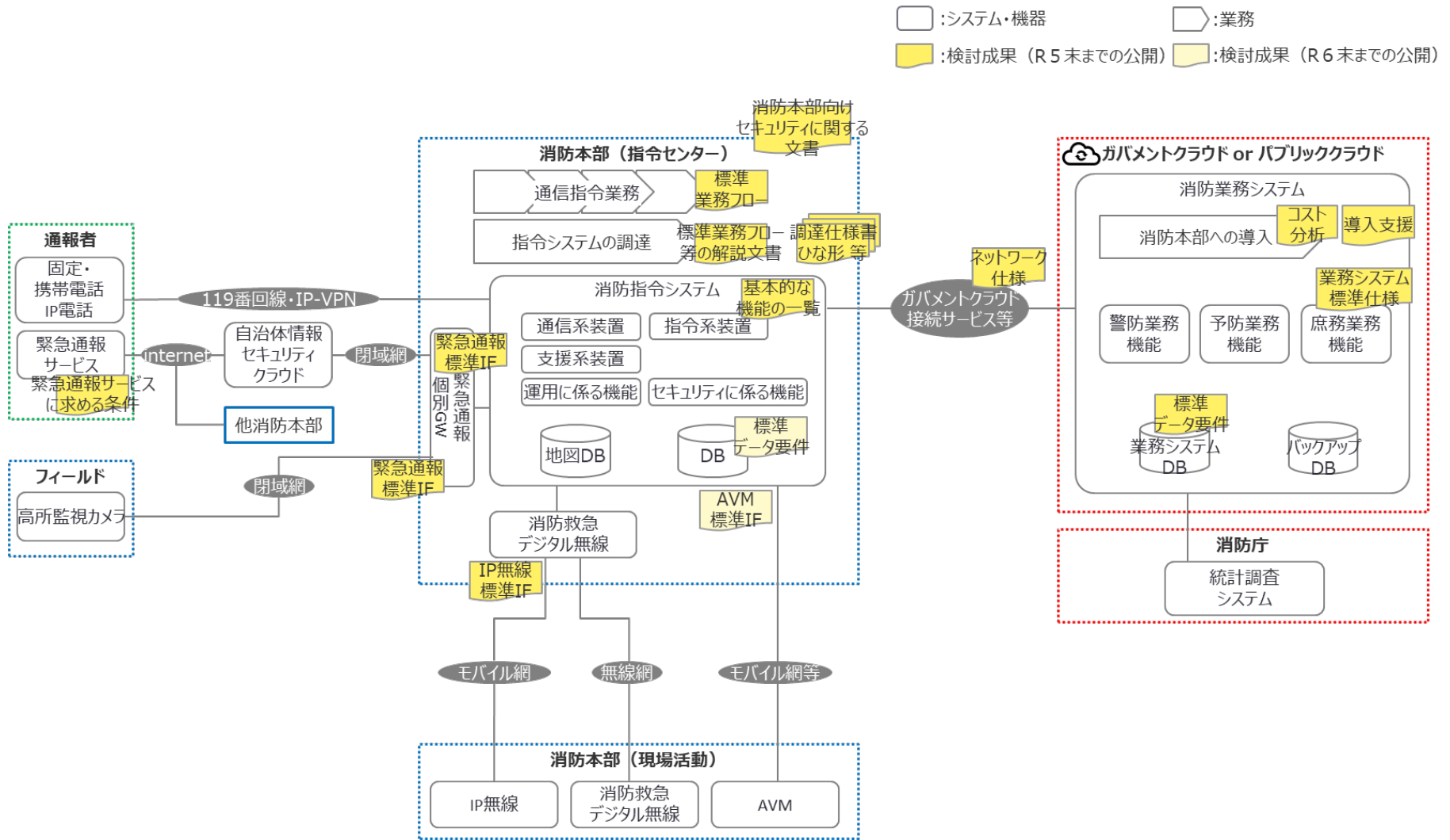
消防全体としてネットワークの在り方について検討が必要

他消防本部や応援部隊、他機関とデータ連携できるとよい

- ・ ネットワークの在り方検討
 - ・ 消防本部-クラウド間
 - ・ 消防本部-消防庁間
 - ・ 消防本部-他消防本部間

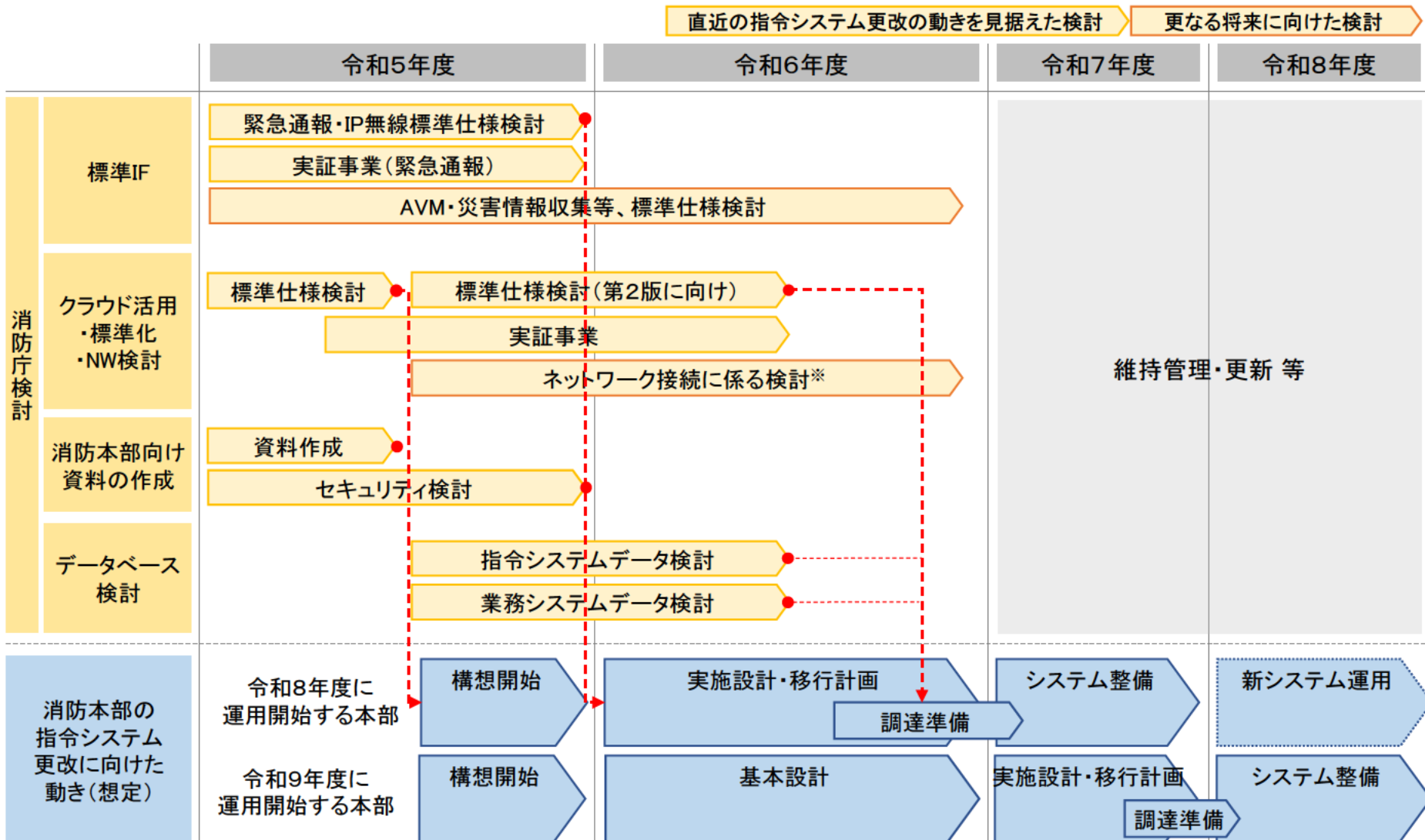
※令和2年度に実施した全国消防本部へのアンケート結果から、現在の検討における目的としている課題・ニーズを抜粋

検討の背景・具体的な取組(全体像)



検討スケジュール

○ 令和8年度から次期指令システムの運用開始を控える消防本部をスケジュール上の1つのターゲットとし、各検討を進めている。



※消防本部-消防庁間のネットワーク等